

# 事故報告書

フルーツ・シャトーよいち

総合施設長	副施設長	援助課長	課長補佐	医務課長	相談員	担当

フガナ	●●●●	男	要介護3	移動	<input type="checkbox"/> 独歩 <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> 杖歩行 <input checked="" type="checkbox"/> 車椅子
本人氏名	●●●●様	82歳			<input type="checkbox"/> その他 ( )

報告者	●●●●	発生(発見)日時	平成25年05月14日(火) 10:30 分頃
-----	------	----------	-------------------------

場所	<input checked="" type="checkbox"/> 居室 <input type="checkbox"/> ホール <input type="checkbox"/> 浴室 <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> 拠点フロア <input type="checkbox"/> 廊下 <input type="checkbox"/> 階段 <input type="checkbox"/> 屋外 <input type="checkbox"/> 送迎車内 <input type="checkbox"/> その他(ベッド)
----	--

状況	<input type="checkbox"/> 転倒 <input checked="" type="checkbox"/> 転落 <input type="checkbox"/> 誤食 <input type="checkbox"/> 誤嚥 <input type="checkbox"/> 誤薬 <input type="checkbox"/> トラブル <input type="checkbox"/> 単独外出 <input type="checkbox"/> 介護中 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> その他(ベッドからの転落)
----	---

介助者はご本人の左側に身体を支えるようにベッドに座り、導尿の見守りを行う。導尿後、●●氏が右手でベッド柵をしっかり掴んでいる事を確認し尿瓶やカテーテルを片付ける為ベッドから立ち上がり、●●氏に背を向ける。すると「あ〜!」と言う声が聞こえ後ろを振り向くと、柵に掴まっていた右手が離れ、ベッド左後方から頭部より床に転落しそうなところを発見する。身体を支えようと頭部に手を添えるも支えきれず、そのまま頭部よりベッドから床に転落し、その後身体全体がベッドから転落する。

10時35分 医務から副施設長に●●氏がベッドから転落し頭部を打った旨報告し、受診の運びとなる。  
 10時35分 ●●主任援助員から総合施設長に●●氏がベッドから転落し受診に行く件、口頭にて報告する。  
 10時35分 ●●主任援助員から長女様にベッドから転落し頭をぶつけた為これから●●病院へ受診する旨、電話にて報告・謝罪する。  
 10時40分 ●●主任援助員から課長補佐へ●●氏がベッドから転落し受診に行った旨口頭にて話し、状況を報告する。  
 10時45分 副施設長が拠点に来られ●●主任から●●氏のベッドからの転落時の状況を報告する。  
 11時25分 ●●主任援助員から援助課長に●●氏がベッドから転落後受診、問題なく帰園された旨報告する。

症状	<input checked="" type="checkbox"/> 無傷 <input type="checkbox"/> 表皮剥離 <input type="checkbox"/> 擦過 <input type="checkbox"/> 切傷 <input type="checkbox"/> 内出血 <input type="checkbox"/> 火傷 <input type="checkbox"/> 腫れ <input type="checkbox"/> 変色 <input type="checkbox"/> 熱感 <input type="checkbox"/> その他 ( )	部位	左側頭部、左頸部
----	---	----	----------

ベッドから転落後、本人に痛みを問うと「ここが痛い。」と手で左側頭部と左頸部を触る。職員を呼びベッドへ移乗しすぐに身体観察を行う。他に痛み無く、腫れや変色も見られない。

対応	<input type="checkbox"/> 様子観察 <input type="checkbox"/> 湿布 <input type="checkbox"/> 冷却 <input type="checkbox"/> 吐かせる <input type="checkbox"/> 吸引 <input type="checkbox"/> 止血 <input checked="" type="checkbox"/> 受診 <input type="checkbox"/> その他 ( )
----	---

転倒時頭部をぶつけて頭部と頸部に痛みがある為●●病院に受診する。特に問題は無く、ベッドからの転落による所見もなく打撲による痛みは今日より明日明日痛くなってくると診断を受ける。

バイタルサイン	体温	℃	血圧	/	mmHg	脈拍	回/分	SP02	%	計測時間
---------	----	---	----	---	------	----	-----	------	---	------

要因・原因	<input checked="" type="checkbox"/> 見守り不足 <input type="checkbox"/> 知識・技術不足 <input type="checkbox"/> ルール不遵守 <input checked="" type="checkbox"/> 情報不足 <input checked="" type="checkbox"/> 環境・設備 <input type="checkbox"/> 設備・点検不足 <input type="checkbox"/> 人為的問題 <input type="checkbox"/> その他 ( )
-------	---

- 氏がベッドに臥床する前に、●●氏の側を離れて導尿後の後片付けをしてしまった為。
- 氏が右手の力が弱い事を知っている職員と知らない職員がおり、右手の力が弱い事を知っている職員も掴まった柵から手が離れてしまうほど力が弱くなっている事はわかっていなかった為。
- 4月から異動してきた職員には●●氏の状態を口頭だけで伝えており、アセスメントを確認してもらっていませんでした。
- 両手で柵に掴まれる位置に座っていたが、両手で柵に掴まってもらえなかった為。

事故防止対策

- 臥床する際介助バーは必ず閉めて、導尿時●●氏が掴まりやすい位置にする。
- 右手の力がどれくらい入るのかをアセスメントに反映し、グループ内でその情報を共有する方法を検討する。
- 導尿の後片付けは●●氏がベッドに臥床してから行う。
- 今後新人職員や異動職員に介助を教える際は、なぜその介助が必要なのか必ず根拠も伝え指導していく。

加ファインの必要性について	<input type="checkbox"/> 不要 <input checked="" type="checkbox"/> 必要
---------------	--

家族への説明	平成25年05月15日(水)	説明方法	<input type="checkbox"/> 面会 <input checked="" type="checkbox"/> 電話	説明職員	●●●●
	家族氏名	●●●●氏	続柄	長女	

ベッドから転落し頭を打ってしまった件、電話にて謝罪しこれから●●病院へ受診する旨お伝えする。「わかりました。私もこれから病院向かいますね。それまでよろしくお願ひします。」と話あり。